

八王子市市史編さん室だより

稲 荷 山 通 信 第 12 号

発行日:2014(平成26)年11月1日

発行者:八王子市 市史編さん室

〒193-0943 八王子市寺田町1455-3
TEL 042(666)1511 FAX 042(666)1512

『新八王子市史』 3冊を新たに刊行！

— 「自然編」「資料編2 中世」「資料編6 近現代2」 —



市制施行100周年記念として進めている市史編さん事業の成果として、『新八王子市史』「自然編」及び「資料編2 中世」、「資料編6 近現代2」などを刊行しました。

「自然編」は、『新八王子市史』の中で初めての本編となり、地質・気象から動植物まで八王子の自然の概要がわかるオールカラーの自然カタログになっています。

「資料編2 中世」は、横山党や船木田荘から北条氏までを取り上げ、とりわけ滝山・八王子城主として知られる北条氏照の活動に関わる資料は、可能な限り収録しました。また、中世の主要遺跡・石塔についても

収録しており、中世の八王子を知る貴重な資料集となっています。

「資料編6 近現代2」は、公文書を中心に収録した「資料編5 近現代1」に対して、市民の方々が長い間大切に保存されてきた貴重な資料など、個人や機関が所蔵する私文書を中心に編集しました。

このほかにも『聞き書き 織物の技と生業』（八王子市史叢書2）、『検地帳集成』（八王子市史叢書3）、『八王子市史研究』第4号を刊行しました。

中世の市民講座も開催します

12月の市民講座「市史を読み解く」は、『新八王子市史』資料編2 中世をテーマに開催します。皆様ふるってご参加ください（詳細は3頁参照）。

Contents

『新八王子市史』3冊を新たに刊行！	1
刊行物のごあんない	2
市民講座を開催します／「いちよう塾」に講座を提供しました	3
受贈図書・資料（平成25年8月16日から26年8月15日まで）	3
専門部会の主な活動（平成25年8月から26年9月まで）	4・5
職員の異動	4
チャレンジインターンシップ体験記 高橋恵理・山越紘子	6・7
歴史の窓⑫ 八王子の歴史資料を未来に伝えるために 佐藤麻里	8



刊行物のごあんない

市史編さん室では、様々な刊行物を販売しています。25年度は下記の刊行物を販売開始しましたので紹介します。

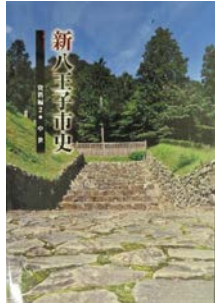
『新八王子市史』 自然編



A4判
646頁
5000円

『新八王子市史』

資料編2 中世



A5判
1075頁
3000円

『新八王子市史』

資料編6 近現代2



A5判
975頁
3000円

『聞き書き 織物の技と生業』 (八王子市史叢書2)



A5判
298頁
1000円

『検地帳集成』

(八王子市史叢書3)



A5判
343頁
1000円

『八王子市史研究』 第4号



A5判
191頁
500円

平成26年度 の 刊行予定

- ・『新八王子市史』 通史編1 原始・古代 A5判
- ・『新八王子市史』 資料編4 近世2 A5判
- ・『統計調査報告書(仮題)』 A4判
- ・『八王子市西南部地域 浅川の民俗』 A4判
- ・『八王子市北部地域 加住の民俗』 A4判
- ・『八王子市史研究』 第5号 A5判

購入の方法

①書店もしくは市の施設での直接購入をご希望の場合

営業日時がそれぞれ異なりますので、電話やホームページなどでご確認ください。

◎取扱書店 **くまざわ書店八王子店**(JR 八王子駅北口・☎042-625-1201) **石森書店**(四谷交差点デニース横・☎042-623-0495) **磯間書店**(JR 西八王子駅北口・☎042-661-1656) **ブックランド島村書店**(JR 西八王子駅南口・☎042-661-6823)

◎取扱市施設 八王子市役所 1階・市政資料室(元本郷町・☎042-626-3111(代)) 八王子市郷土資料館(上野町・☎042-622-8939) 八王子駅南口総合事務所(子安町・☎042-620-1150) 八王子市市史編さん室(寺田町・☎042-666-1511)

※『由木の民俗』は由木・由木東・南大沢事務所でも販売しています。『恩方の民俗』は恩方事務所でも販売しています。『村明細帳集成』は八王子駅南口総合事務所での販売はありません。

②郵送での購入をご希望の場合(市史編さん室のみ取扱い)

ご希望の書名と冊数、送付先、お名前、電話番号を明記し、書籍代金の総額(郵便局で購入した「定額小為替」か、現金の場合には現金書留で)と送料分の切手(書籍を入れた荷物の重さで送料が決まりますのでお問い合わせください)を同封し、〒193-0943 八王子市寺田町1455-3 八王子市市史編さん室までお送りください。

市民講座を開催します

■ 『新八王子市史』を読み解く ■

『新八王子市史』資料編2 中世を刊行しました。この刊行物をもとに『新八王子市史』を読み解く』と題し、下記のテーマで講座を開催します。

日 程：平成 26 年 12 月 8・15 日 全 2 回（ともに月曜日）	日程	テーマ	講師
時 間：午後 2 時～ 4 時	第1回 12月8日	北条氏照と大石氏 ～滝山・八王子領の 成立をめぐって～	市史編集専門部会中世部会委員 都立武蔵高等学校非常勤教員 加藤 哲 氏
会 場：八王子市生涯学習センター（クリエイトホール） 5 階 ホール	第2回 12月15日	北条氏照と 八王子城・小田原城の戦い	市史編集専門部会中世部会長 成蹊大学名誉教授 池上 裕子 氏
受講料：400 円			
対 象：どなたでも（要事前申込）			
定 員：230 名（応募多数の場合抽選）			

申込方法：往復はがきに「新八王子市史」と住所・氏名(ふりがな)・電話番号、返信面の宛名を書いて、〒192-0082 八王子市東町 5-6 八王子市生涯学習センターまで（11 月 18 日必着）

「いちょう塾」に講座を提供しました

市史編さん事業では、八王子の歴史や自然、民俗などに関するさまざまな資料を収集し、調査・研究を進めています。その中には、現在、そして今後のまちづくりを考えるうえで、役立つ情報が多く含まれています。編さんでの成果を、市民の皆様と共有し、今後のまちづくりに活かしていくため、八王子学園都市大学『いちょう塾』に下記の講座を提供しました。

日程	テーマ	講師
6月28日	私が見てきた道祖神・セイノカミ行事のいろいろ ～八王子市とその周辺の道祖神・セイノカミ行事～	市史編さん研究協力員 犬飼 康祐 氏
9月27日～3月28日(全6回)	〔流域地図〕で読む八王子の歴史 ～寺社の立地と景観から考える～	市史編さん研究協力員 多摩地域史研究会会員 馬場 喜信 氏

受贈図書・資料 平成25年8月16日から26年8月15日まで

多くの方々から、図書や資料をご寄贈いただきました。御芳名を記し、謝意を表します。

- 【個人】 秋間薫 畔上能力 阿部正治 諫山禎一郎 石井義長 石川彌八郎 石森康夫 犬飼康祐 井上公雄 井上勉
牛尾いわ 牛尾良子 大河原隆道 大野聖二 沖川伸夫 小沢吉幸 及川良彦 粕谷和夫 久保有朋 久保喜一
車田勝彦 紅霞和夫 櫻井幹夫 指田豊 佐藤秀文 佐藤広 白井哲哉 城定恒雄 進藤紅示 鈴木直樹
須田孫七 長佐古真也 西岡芳文 西川康夫・夕起 沼謙吉 橋本鋼二 早川大介 原島公子 原嶋宏昌
穂坂敏明 本間岳人 前田成東 水口政次 村野圭市 渡部恵一 (敬称略・50音順)
- 【機関】 青森県環境生活部県民生活文化課県史編さんグループ 厚木市教育委員会社会教育部文化財保護課文化財保護係
天草市総務部総務課天草アーカイブズ管理係 伊豆の国市文化振興課文化財係 伊勢市教育委員会文化振興課文化
財係 青梅市郷土博物館 小田原市役所 落合町会 学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻 柏市
教育委員会文化課市史編さん担当 君津市総務部総務課 杏林大学外国語学部 杏林大学八王子事務局地域交流課
くにたち郷土文化館 熊谷市教育委員会社会教育課市史編さん室 神戸市企画調整局(神戸市文書館) 小平市企画
制作部市史編さん担当 狛江市企画財政部市史編さん室 駒木野町会 相模原市立博物館市史編さん班 佐倉市総
務部総務課市史編さん担当 座間市教育委員会教育部生涯学習課市史文化財担当 寒川文書館 関市教育委員会文
化課文化財保護センター 全国歴史資料保存機関連絡協議会 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会 仙
台市博物館市史編さん室 高尾山薬王院 多治見市文化財保護センター 館林市教育委員会文化振興課市史編さん
センター 多摩市教育委員会教育振興課 文化財係 たましん地域文化財団たましん歴史・美術館歴史資料室 長
念寺 調布市総務部総務課公文書管理係 東京都市町村自治調査会 東京都埋蔵文化財センター 所沢市教育委員
会教育総務部生涯学習推進センターふるさと研究グループ 豊島区立郷土資料館 戸田市立郷土博物館 長崎市総
務局企画財政部市史編さん室 長野市公文書館 名古屋市政資料館 南山大学史料室 新島村博物館 沼津市教
育委員会文化振興課市史編さん係 野田市総務部市史編さん担当 八王子市川口郷土史研究会 八王子市四谷町会
八王子市立恩方第二小学校 八王子市老人クラブ連合会 八戸市立図書館市史編纂室 原宿町会 広島県立文書館
福井県文書館 福岡市教育委員会総合図書館文学・文書課資料係 藤沢市文書館 ふだん記雲の碑グループ 福生
市郷土資料室 法政大学大学院史学会 町田市立自由民権資料館 三豊市文書館 横浜市史資料室 (50音順)

専門部会の主な活動

原始・古代部会

通史編として第1巻目となる「通史編1 原始・古代」の執筆、内容検討会を昨年度から行ってきました。この巻では、旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代までという長い時代区分を扱います。そのため、時代ごとの特色を生かしつつ、全体の統一がどのように行えるか検討しながら進めています。

今年度から編集チームを立ち上げ、執筆者から提出された原稿の読み合わせを行い、修正部分についての意見交換会議も重ねてきました。わかりやすい内容にするために、今後も修正・確認・編集作業を行っていきます。

中世部会

「資料編2 中世」の刊行にむけた執筆と、原資料および写真の確認・撮影、原稿の調整を進めました。編年史料や系図、市内所在の中世文書、仏教の経典などの^{しょうぎょう}聖教類資料は、おもに原典の写真を参照し校訂作業を重ねました。中世遺跡や石造物に関しては、遺物の写真撮影や図版の作成を進めるとともに、原稿の執筆と校正を行いました。現在は「通史編2 中世」の刊行を目標にして調査・執筆を進めています。

近世部会

昨年度は「八王子市史叢書3 検地帳集成」を3月に刊行することができました。今年度は「資料編4 近世2」を刊行すべく、資料の選択と編集作業を行っています。

また、資料編の作業と並行して、「八王子市史叢書4 宗門人別帳集成」や通史編の執筆に向けた資料調査をしています。通史編では、資料編で紹介したものを中心に八王子の多面的な人びとの生活のあり方を明らかにしていく予定です。現在、さらに新しく確認された資料の所在調査・整理や、通史編に向けた資料の分析を進めています。部会会議は10回開催しました。

職員の異動

【新任等】

(平成26年4月1日付)

長谷部晃一(課長補佐) 市史編さん室主査より昇任
中川 陽子(主任)

図書館部生涯学習センター図書館より転入

(平成26年7月1日付)

横路 真琴(市史編さん専門員) 新規採用

【転出】

(平成26年4月1日付)

尾崎佐智子(主任)

福祉部障害者福祉課へ

【退職】

(平成26年6月30日付)

西村 祐美(市史編さん専門員)

平成25年8月から26年9月まで

近現代部会

昨年度は、部会として2冊目の資料編となる「資料編6 近現代2」を刊行しました。今年度は、通史編の上巻(平成27年度)及び下巻(同28年度)の刊行に向けて、内容の検討を進めています。編さんを進めるにあたって、5つの時期区分ごとにチームを分け、定期的に研究会を開催しています。研究会では、それぞれの時代に応じた章構成および執筆内容の検討を行っています。

また、今年度刊行の「統計調査報告書(仮題)」の編集を行っています。本書は、戦後に市で刊行し現在保存されている『統計八王子』(1965～2011)を、電子データとして再編成し、一部は時系列に再構成しています。市民の皆さまに広く活用していただけるような編集を心掛けています。部会会議は6回、全体会(部会委員・専門調査員会議)は1回開催しました。

民俗部会

平成25年度は「八王子市史叢書2 織物の技と生業^{なりわい}」を刊行しました。

今年度は「新八王子市史民俗調査報告書 第3集 八王子市西南部地域 浅川の民俗」と「新八王子市史民俗調査報告書 第4集 八王子市北部地域 加住の民俗」を刊行予定です。現在、第3集は原稿執筆を終え、校正作業の段階です。第4集は、加住地区の皆様にご協力いただき、合同調査を開催いたしました。また、本編に向けて小宮地区や元八王子地区での調査も開始しております。今後も報告書および本編刊行のための議論を重ねていきます。さらには、八王子の民俗に関する文献目録の作成も進めていく予定です。

自然部会

昨年度は、本編最初の配本となる「自然編」を刊行いたしました。八王子における地質・気象・動植物などについて、A4判オールカラーで写真や図版もつけて紹介しています。また、平成27年度に予定している「八王子市動植物目録(仮題)」の刊行に向けて、構成や配分、詳細内容の検討を行いました。その後、それぞれの分野ごとに、これまでの調査で得られたデータの整理、補填現地調査、標本の作成、文献記録の確認、目録原稿の執筆等を行っております。部会会議3回と分野ごとの打ち合わせを行いました。

チャレンジインターンシップ体験記 (平成25年8月12～13日)

国学院大学 文学部 史学科 3年 高橋 恵理

私は史学科に在籍しており、博物館学課程を履修しています。しかし、講義は座学が多く、まだ実際に資料の整理を一通り経験したことはありませんでした。そうした折、八王子市のホームページを閲覧していたところ、市史編さん室のチャレンジインターンシップの募集を発見しました。私にとって八王子市は、馴染みのある市でもあり、これはやるしか



古文書整理を体験する高橋さん(左)と山越さん(右)

ない!と迷わず応募いたしました。やる気に満ち溢れていた私ですが、それでもやはり不安が強く、緊張しながら当日を迎えました。しかし、そんな私を市史編さん室の皆様はとても温かく迎えてくださり、親切な対応をしてくださいました。その態度に、とても驚きを感じるとともに、有り難く思いました。

初日は朝礼に参加することから始まりました。そして、市史編さん事業についての説明を受けました。市制100周年を記念した大事業に参加できるのだと心が躍るとともに、責任を持って取り組もうと改めて心に決めました。

行った作業の中で特に難しいと感じたのは、資料整理の際に封筒に資料の情報を記入することでした。利用者はどのような情報が必要か、より分かりやすく伝えるにはどのように表現すればよいか、頭を悩ませました。その作業が非常に面白く、やりがいのあるものだとも感じました。

全体を通して強く感じたのは、資料整理にも「真心」が必要だということです。職員の皆様から、資料はもちろん、所蔵者の思いも大切にする姿勢が伝わってきました。丁寧に作業することで、市民の皆様が資料を提供しても良いと感じる…その信頼関係があるからこそ、市史編さん事業が進められるのだと気づきました。私自身も職員の皆様の姿勢を見習って、一点一点丁寧に、感謝の気持ちを持ちながら取り組みました。収蔵庫からも資料を大切に扱う気持ちが伝わりました。限られた空間・機材・保存に必要な用品を有効に使い、少しでも資料にとって良い状態を保てるよう心掛けているのだと感じました。

インターンシップに参加した2日間はとても有意義なものとなりました。歴史を伝えていくことに興味があった私にとって、刺激的な経験でした。この経験を日頃の勉強をはじめ、卒業論文への取り組みや就職活動にも生かしていきたいです。市史編さん室の皆様、お忙しい中、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

(たかはし えり)

チャレンジインターンシップ体験記 (平成25年8月12～13日)

東京大学 文学部 歴史文化学科 日本史学専修課程 4年 山越 紘子

私がチャレンジインターンシップを知ったきっかけは、大学院の先輩方に卒業論文の史料探しの指導をしていただいた折に、八王子市の市史編さん事業のお話を聞いたことでした。八王子市のホームページを見ていた時に、ちょうど市史編さん室のインターンシップの募集を見つけることとなり、市役所の仕事を知ると同時に、歴史資料に直に触れることのできる貴重な機会だと思い、参加しました。

インターンシップ初日はまず、市史編さん室の各部屋を回り、保管されている資料の種類の解説と、それらの資料にまつわる八王子や多摩地域周辺の様々な由縁などを話していただきました。資料はすべて、昔の人々の様々な思いがこもった物であり、資料を取り扱う時には、「先人を供養する」という視点で接することも大切であるというお話が印象的でした。普段、本を通じて史料を見る時には、そのようなことまで思いが至らなかったもので、歴史を調べるということは、過去の人々と向き合うことなのだ、改めて考えさせられました。また、甲州街道の写真パネルなども見せていただき、よく知っている場所でも、ほんの数十年前には、今とは全く違った姿があったのだと知ることができました。自分が住んでいる付近の開発時の話なども、知らないことばかりで、大変興味深いものでした。

その後は、資料整理の仕事を主に学び、資料の目録作成の為にエクセル入力、資料の封筒詰めを行いました。バッジや印鑑、コインなど、文書以外の資料が想像よりも多く、驚きました。資料の保管に細心の注意を払い、お借りした資料を綺麗な状態にして返すことが、資料提供者との信頼関係を築くことにも繋がり、将来的な研究の助けともなるというお話が心に残りました。2日目は前日に封筒に詰めた資料を実際に読み、目録に載せる事項を考える作業をしました。難しく時間のかかる作業でしたが、資料を見て話し合うのはとても楽しく、やりがいのあるものでした。

2日目の午後は見学実習ということで、八王子城跡と郷土資料館を訪れました。八王子城跡は、何度か本で由緒を読んだことがあったものの、初めて訪れる場所でした。八王子城は、日本100名城に選ばれたということで、休憩施設を兼ねたガイダンス施設や駐車場などが新しく整備されていました。野外の遺構は、八王子の歴史を多くの方々に伝えていくために、観光地として開発する必要もあるものなのだと勉強になりました。郷土資料館では、機織や車人形など、主に子ども向けの体験学習のための工夫が多くありました。私自身、小学生の頃に見学に来たことがあるので、懐かしく思うと同時に、やはり、子どもたちに楽しみながら地域の文化を知ってもらうのは大切なことであると再認識しました。

今回のチャレンジインターンシップを通じて、資料を見ることは、それを通じた人々との関わりでもあることを深く感じました。また、お話を聞く中で、歴史を伝えるだけでなく、地域の人々との関わり、地域の発展への貢献など、市史編さん事業が持つ役割は幅広く重いものであると考えさせられました。市史編さん室の皆様にご指導いただき、貴重な体験ができました。お忙しい中、お時間を割いていただき、ありがとうございました。

(やまこし ひろこ)

歴史の窓⑫

八王子の歴史資料を未来に伝えるために

市史編さん専門員 佐藤 麻里

「八王子に関する有形、無形の歴史資料を整理、保存、管理し、後世に伝えるとともに、現在及び将来の活用を図る」——これは「八王子市史編さんの基本的な考え方—市史編さん基本構想—」における市史編さんの目的の3本柱の1つです。市史編さんとは、『新八王子市史』を編集・刊行するだけでなく、その過程で収集した資料を後世に伝える土台作りの事業でもあるのです。

どんな地域にも、歴史に裏付けられた豊かな地域文化があります。その文化を継承・発展させていくための資源が地域の歴史資料です。自然災害や戦災、人の移動などで、多くの歴史資料が失われてきた現代の東京にあって、八王子市内には類を見ないほど多くの、そして古くからの資料が遺されています。今回の市史編さんにおいて新たに発見された資料もあります。その一部は、既に刊行された『新八王子市史』の資料編に活用されているので、ご覧ください。市史は、市民が先祖から守り伝えてきた資料に支えられて作られているのです。

では、皆さまからお預かりした資料は、どのように市史に活用されていくのでしょうか。その一端をご紹介します。編さん室では、資料を受け入れる際、まず準備室と呼ばれる部屋に収めます。1点ずつ、刷毛などで埃を落とし、中性紙で作られた文書封筒（写真①）に入れ、固有の番号を振っていきます。中性紙封筒は、紙の酸化や虫害、汚損による劣化や破損を防いでくれるので、古文書整理には欠かせません。続いて封筒に、その資料が持つ情報（資料名、作成者、宛先、作成年月日など）を書き加えていきます。この情報を入力して作成したリストである「資料目録」をもとに、市史の執筆者は必要な資料を探すのです。

一方、資料に対する修復や保存措置なども行っています。編さん室がお預かりする資料の多くは紙でできていますが、紙は時間が経つにつれ劣化したり、虫やネズミの食害などをを受けて汚損したりします。そこで害虫・カビを駆除し、新たな侵入を防ぐために、受け入れた資料については原則1回以上の資料燻蒸を行った上で、収蔵庫に収納しています。

収蔵庫内の環境を適切に維持することも、資料を守る上で重要な仕事です。しかし、編さん室がある旧稲荷山小学校は、豊かな自然に囲まれています。学校は通気性を重視する建造物で、密閉性が求められる博物館とは反対の性格を持っています。こうした環境で、資料を保存するというのはなかなか大変です。一般的に、室温25℃・湿度55%以下で一定に保つのが好ましいといわれますが、常時運転できる専用の設備がないため、編さん室の収蔵庫は日光や外気を遮断する措置をとるとともに、毎日3回温湿度を計測し、適宜空調・除湿機を用いて温湿度の変動が小さくなるよう調節しています。またトラップを仕掛け、害虫が侵入・発生した場合にはすぐ対応できるようにしています。

さて、燻蒸を終え、目録の作成も終わった歴史資料は、中性紙でできた文書箱（写真②）に収納し、所蔵者にお返しすることになります。編さん室では、作成した複製物を利用します。

歴史資料を後世に伝えるためには、これらの地道な作業を積み重ねていかなければなりません。しかし、歴史資料は八王子という地域の貴重な資源であり財産です。豊かな『新八王子市史』を編さんするため、編さん室では日々、資料整理・保存に取り組んでいます。

(さとう まり)



写真① 古文書などを収納する中性紙封筒

写真② 整理した中性紙封筒を入れた文書箱